

山梨県 桃の会

会報第 87 号

何かを問われている

究極的に我々が人生の意味を問うのではなく
我々が問われているのだと理解すべきである
一言で言えば全ての人には人生に問われている

自分の人生に答えることで答えを出し

人生の責任を引き受けることで

責任を果たすことしかできない

(ビクトール・フランクル)



出会う、つながる、わかちあう

K H J 全国ひきこもり家族会連合会 山梨支部

HP <https://momonokai.org> e-mail meri-sannokuni@softbank.ne.jp



私が30代の頃子育てで悩んでいた時、相談した専門家からはっきり言われたことがある。

「お母さん、これからこの子と信頼関係を築いていくんですよ」当時、信頼関係など特に考えることもなく当然育てるうちに自然に培われていくものだと思っていたので「これから信頼を育てる？」では今までの子供との関わりは何だったのか・・・？

今までの子育てを否定されたような何とも言えない虚しさと反発が入り混じって中々気持ちの整理がつかなかったことを思い出す。今になってその時の自分がはっきり見えてくるのだが、自分に都合のいい子供になって欲しい事ばかり考えていたのだと感じる。その時はわからぬまま自分の都合ではなく子供の都合に合わせる努力を始めた。それは私にとっては前に立ちはだかった硬く大きな岩を砕きながら進むようなもので自分との闘いの始まりだったように思う。

信頼は見えなくて感じとるものだから心の中で揺れ動き不安定なのだ。だからお米の早炊きのようにはいかない。じっくりと時間をかけてゆっくり育つものなのだということを実感する。

だからこそしっかりと揺るぎないものに育つのもかもしれない。

そして信頼は目で確かめたり数値に表せるものではないが相手が教えてくれると思っている。

相手は正に自分を写す鏡だからである。

信頼の根底にあるものは相手を深く理解し自分も理解されるということ、そしていつも誠実であることが求められる。このように信頼は作り上げようとする努力が必要である。

相手に必要以上に合わせる事でもなく、自分の都合で相手を動かすことでもない。

心を開いて向き合える安心感があり自由がある関係、そういう関係の中からしか何かをなし得ることが産み出されることはないと考える。

人と人の繋がりがどんどん希薄になっていく社会、せめて家族の中に心と心を通い合わせたコミュニケーションの灯りがともって欲しい・・・そこからがスタートのように思う



「兄弟姉妹グループがスタートしました!」 ～ ミニグループトーク報告から ～

兄弟姉妹のグループトークをしてみて、気づいたことがあります。ひきこもっている本人が家族内にいるので家族全体の問題になると思います。しかし、実際のところ、ひきこもっている本人に対して家族としてどう接していくのかということ家族間で話し合っていない家族が参加者の大半を占めていたことでした。そのため、親が年老いて、弱ってくるにつれ、本人に対しての方針が曖昧でわからないまま今後兄弟姉妹として本人とどう接していいわからず、このまま一人で背負わないといけないのではないかと不安を抱えていました。現実、兄弟姉妹にも生活があり、本人や親と関わる時間も限られています。その上で兄弟姉妹、親、本人の関係が複雑に絡み合っていて、その悩みを吐き出す場所がなかなか無いのが実状です。誰にも話せず自分で悩みを抱え込んでいる兄弟姉妹は多いのではないのでしょうか？だからこそ同じ立場の兄弟姉妹が安心して話せる場所が必要ではないかと思えます。

最後に、今回初めて兄弟姉妹のグループトークを行うことで思ったことがあります。悩みを抱えた兄弟姉妹が同じ立場の人達に出会うことで、自分1人だけじゃないという安心感を感じたり、他の人はこういうふうに対応しているんだという気づきを得ることで兄弟姉妹の不安や負担を少しでも減らすことができるのではないかと思えました。

当事者 Voice

 当事者スペースの報告 11月20日(土) 13時~16時 ぴゅあ総合 3階音楽室

・参加者 当事者、経験者 7名 初参加者 1名 参加関係者 2名

・スペースにおける内容

チェックイン

グループトーク・・・悩みについて、お店でのやり取りの難しさ、やりたいこと、趣味について、
いじめについて

・感想 今回も多く参加者を迎えての当事者会となりました。県外、富士北麓といった遠方から参加してくれている方もいてありがたいことです。 米長

 11月14日(日)テーマトーク報告書

◎ テーマ : 『"楽しみ"の探し方』

◎ 参加人数 : 9人(当事者7人、親2人)

 いつもお世話になっております。当事者スペース世話人の滝沢です。

今回のテーマトーク『"楽しみ"の探し方』では、お題の通り、沢山の趣味や好きなことに関する意見を出していただきました。読書、絵画、インターネット、アニメ、ゲーム、映画、食事、ドライブ等々・・・僕が特に注目したのは、インターネット関連でした。

今やIT時代...家に居る時間が多くても、片手間にインターネットを使う事が出来、それらを駆使し幅広いカテゴリーで買い物が出来る。TVゲームも、目の前に人がいなくとも、オンラインで繋がる事が可能です。映画作品もわざわざ映画館に足を運ばずに月額制の動画配信サービスで観ることが出来ます。

僕自身、ネット通販の利用やSNSでの情報集めなどを行っています。とても便利です。。。

...実のところ、今回のテーマはかなり難しいものでした。しかし、意義はあります。

どんな人にも娯楽を得る権利あり、その尊厳を否定し奪うことはあってはなりません。一見、意味が無さそうな趣味でも、その人たち一人ひとりにとって大切な時間と空間なのです。この当事者会を通じて、"楽しみ"とはどういったものなのかということ、ほんの少しですが、解ったような気がします。。。

■ 桃の会 都留 11月19日(金) いきいきプラザ都留にて

当事者3名、支援者7名の参加を頂き開催致しました。

今回は都留市の社協さんのほか上野原市と富士吉田市の社協さんが参加されました。そして都留市の社協さんからひきこもりや不登校の方々がわかりやすい相談窓口のプリントを作成して頂き感謝致します。

会の後半にフリートークを設け自由に会話ができてとても良かったと思います。

まだ事情により会に出かけて来られない方もいらっしゃるので毎月開催を継続してゆきたいと思います。

野武

 お知らせ

芦沢茂喜氏の本 第2弾! 「ふすまの むこうがわ」ひきこもる彼と私の物語 生活書院

***ひきこもり支援の実際と現実が丁寧に描かれています

「ふすまが開き、彼は部屋から出てきました。両親から相談を受けて七年の歳月が経っていました・・・」

◆ 12月はミニグループトーク、当事者スペース、テーマトーク、桃の会・都留を行います

一年が足早に過ぎようとしております。残すところ一カ月となり今年最後の桃の会になります。今年もご家族、当事者、支援の方々、様々の方々のご協力を頂き本当に有難うございました。今年にはコロナ禍に始まりコロナ禍に翻弄される一年でありました。



個人的に振り返ってみますと様々な出会い、出来事に迷い悩み、悲しみ、喜びがありました。それらは全て私にとっての学びであり活動の原動力となっているように思えます。本当に有難うございました。この活動は正にギブアンドテイクの好循環であると思います。人それぞれに意見や考え方は当然違い、違和感を感じたり納得できない時もあるでしょう。

しかしその、他と自分との摩擦が自分を知るためのターニングポイントになるように思えるのです。まず自分自身と真摯に向き合えることが全てのスタートのように感じています。

今月のミニグループトークは一年を振り返って心に残ったこと、改めて感じたこと、疑問に思っていることなど自由にお話し願えればと思います。

兄弟姉妹グループも先月に引き続き設けますので先月ご都合がつかなかった方、どうぞご参加下さい。日々寒さも増して、師走のお忙しい時ですが2時間あまりの交流を通じて沢山のエネルギーをお持ち帰り頂ければと思います。

★ミニグループトーク 12月19日(日)10時～ ぴゅあ総合 視聴覚室 一家族¥500 当事者無料

一年間の振り返りトーク、兄弟姉妹グループトーク

★当事者スペース 12月19日(日)13時～ ぴゅあ総合2F 工芸・美術室 参加費無料

★テーマトーク 12月12日(日)13時～ 福祉プラザ1Fロビー 参加費無料

テーマ 「フリーテーマ」色々な話題で意見交換 参加費無料 家族付き添いOK

★桃の会・都留 12月13日(月)13時30分～ いきいきプラザ都留 3F 研修室

コロナ感染防止のためマスクの着用のご協力をお願い致します



農園でギャザリングしよう！

画 55㎡ (約17坪) 1年間 市民農園：1区 6,000円

場所：甲府市七沢町 友達家族などで一緒に畑で過ごしませんか

お問い合わせ：055-243-0261 (相良農園)

すみれ会

12月の集まりはお休みさせていただきます

お問い合わせ：090-5416-8748 (清水)

*すみれ会は桃の会とは別に地域で活動している家族会です

◆1月の予定 ミニグループトーク 1月15日(土)10時～ ぴゅあ総合 小研修室1

当事者スペース 1月15日(土)13時～ ぴゅあ総合 小研修室1

テーマトーク 未定です

桃の会・都留 1月24日(月)13時30分～ いきいきプラザ都留



**都合により問い合わせ事務局の連絡先を下記に変更、追加致しますので宜しくお願い致します。

お問い合わせ 桃の会事務局 e-mail / meri-sannokuni@softbank.ne.jp Fax 0266-78-3742 篠原

Tel 0551- 47- 4040 080-9400-4187 井口

桃の会・都留事務局 e-mail / hiroko.samasara@icloud.com 080-1282-2576 野武

📢 『当事者スペースからの続報です！』

いつもお世話になっております。当事者スペース世話人の滝沢です。👤

12月より、『**桃のLINE ちゃっと**』を開始いたします！毎月、当事者スペースとテーマトークが終わった翌日の午後15時～17時にメッセージを受け付けます。ご興味のある方は、山梨県桃の会ホームページ等にある、LINEのQRコードからお友だち追加していただき、桃の会アカウントのトークからメッセージのやり取りが出来ます。

『桃のLINE ちゃっと』はまだ試験的なものですので、まずは世話人と当事者とのマンツーマンによるやり取り限定とさせていただきます。ご了承ください。。。

吐き出したい悩みや、軽い話し相手、また当事者スペースへの要望…など、お気軽にご利用ください。



- ※1 メッセージ対応をする者は当事者スペースの世話人であり、カウンセラー等の資格者ではありません
- ※2 やり取りをする中で、あまりにも酷い嫌がらせ行為などがあつた場合は、以後対応しかねます。

